

# 福岡県労連

## KEN & ROREN ZENROREN

2017  
7月号  
No.129

発行所 福岡県労働組合総連合  
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南  
1-9-8 ケイ・アイビル 2F  
☎092-433-1833 FAX092-433-1822  
編集発行 福岡県労働組合総連合  
福岡県労連 検索



[定価]  
1部10円

ホームページ 単産・単組の専用ページパスワード: kyoubouzai (~8/31)

九州北部豪雨災害  
単産・単組・地域が  
一体となった救援を

# 山の斜面が崩れ、土砂とともに 流れた流倒木が家屋をなぎ倒す



(上) 被害の家屋  
(下) みんのう農民連のみなさん



被害は、朝倉市・東峰村・添田町を中心に激しく、災害救助法の



台風3号のあと5日の夕方から「線状降水帯」ができ、長時間にわたって記録的豪雨が降り、山の斜面が崩れ、土砂とともに流れた流倒木が家屋をなぎ倒し、筑後川の支流である赤谷川や桂川がせき止められ、氾濫が起ころしました。被害にあつた、みんのう農民連の相良さんは、「老人会の行事で出ていて助かった

### 被災状況の聞き取り

7月9日、九州北部豪雨災害の被害状況を調査する為、全国対連・全労連川村幹事と農民運動全国連絡会吉川事務局長が朝倉市を訪問。調査には、若宮農民組合藤島事務局長と県労連から懸谷副議長が同行しました。調査は「道の駅・うきは」で、みんのう農民連の井上組合長と佐々木事務局長、組合員の相良さんからお話を聞き、杷木町などの被害が大きい場所を案内してもらいました。

県労連HP上に動画などのレポートあり



床上浸水の家

### 今後の支援

今後、行方不明者の捜索、土砂と流木の撤去を進め、床上・床下浸水の家屋の清掃や農地の整備など、国や自治体の支援とボランティアの力が必要になってきます。

全労連は、単産・単組・地域が一体となつて、募金とボランティアを呼びかけています。(文責・編集部)

### 救援募金とボランティアについて

- ①九州豪雨災害救援募金を各組織で集約し、以下の口座に金額を。メール、FAX、電話で事務局に連絡を。  
<口座名>九州労働金庫：博多支店：(普) 2921113  
福岡県労働組合総連合 議長 江口 謙二
- ②カンパのよびかけ募金袋をメールで送っています。活用を。
- ③ボランティア要綱が決まり次第、HP上に掲載します。

## 核兵器廃絶の大きな一歩

国連にて核兵器禁止条約採択

### 草の根運動が身を結んだ条約

「核兵器の全面禁止につながる、核兵器を禁止する法的拘束力のある協定について交渉する国連会議」は、7月7日、人類史上初めて核兵器を違法化する核兵器禁止条約を、国連加盟193カ国中122カ国の賛成で採択しました。9月から各国の署名が始まり、50カ国以上の批准で90日後に条約は発効します。

核兵器禁止条約は、その前文で、核兵器の非人道性を厳しく告発し、その違法性が明らかにされ、国際社会がこうした認識に到達

### 唯一の被爆国日本は署名せず

核保有国や「核の傘」のもとにある国々は条約交渉会議に参加せず、署名も批准も拒

否していません。とりわけ唯一の戦争被爆国である日本政府は、核保有国と非核保有国の「橋渡し役」を自任し



2016年平和行進にて山口での引継ぎ集会

してきたにもかかわらず、交渉会議に参加せず、署名もしないと表明しており、被爆者をはじめ各国関係者を失望させました。しかし、核兵器禁止の世界の流れは、大国と国々ともども押しとどめることはできません。核保有国と「核の傘」の下にある国、とりわけ日本政府に対して、被爆者や世界中の核兵器禁止を求める人々とともに、条約への参加を求める運動を強めていきます。

仁比参議院議員インタビュー

# 広がる怒りに確信をもって “STOP 安倍暴走政治”



日本共産党 参議院議員  
仁比 聡平氏

6月18日に閉会した第193回国会。この国会は、共謀罪法案が自民・公明・維新の捻破りの暴挙で前代未聞の強行採決が行われました。また、森友学園、加計学園問題などの疑惑の中で、政治の私物化や政治家と官僚の答弁、公文書管理の在り方、国会運営や民主主義について、大きな問題点をいくつも国民に投げかけました。今回、弁護士で参議院議員の仁比聡平氏（日本共産党）にお話を伺いました。（インタビューは6月26日に行われました。文責・編集部）

**編集部** 今日は、お忙しい中、ありがとうございます。早速ですが、あの国会のあり方、運営について、どのようにお考えでしょうか。

**仁比議員** 安倍内閣が復活して4年。貧困と格差の拡大の一方で進められた政治の私物化がむき出しになり、矛盾が噴出しました。最終盤、安倍政権は何をしたか。森友・加計問題で問答無用とばかりに、国会の破壊、議法制民主主義の破壊の暴挙というべき捜査権力の暴走が進む共謀罪法案を押し通し、委員会審議の打ち切り、参議院では中間報告で強行採決を行ったのです。憲法を壊し政治を私物化する安倍政治の暴走

に国民の怒りは沸騰しています。東京都議会議員選挙が今、行われていますが、東京にいて日々痛感しています。政府の今の動きは危険ですが、国民の闘いは大きく広がっています。市民と野党の共闘を本気で発展させる力が、今問われています。

**編集部** 自民党の矛盾は広がっていますか。

**仁比議員** 自民党は、かつての国民民主党とは違い変質しています。安倍首相の号令でなんでもやってみよう。共謀罪審議でも審議が出てこないことは、誰が見ても明らかで、法案の中身を知られば知るほど反対が増えて、説明不足の声が80%を超えました。

リストをはじめ言論人、日本ペンクラブの浅田次郎さんや赤川次郎さん、国際ペンなどの声明などがあがりました。主権者であり生活者である国民のみなさんの政治を見る角度が変わってきている。安倍政治に代わる勢力を模索している。外に代わるものがあるか。野党共闘を発展させることが非常に大切になっています。

**編集部** 野党共闘についてお聞かせください。

**仁比議員** 2015年の安保法制（戦争法）の廃案を求める市民の声が高まる中で、野党共闘が始まりました。この2年間の歩みが大切で、昨年の参議院選挙で31の1人区すべてで野党共闘ができた11の選挙区で勝利しました。野党の中でも大きな変化が起こっており、国民の皆さんの期待にこたえて、政策と共闘を一気に前進させる力が求められています。その原動力は「主権者の安倍政治NO」の意思の強さだと思っています。

それは自民党支持層からも突きつけられています。自民党の議員だとして論議を尽くすことが求められており、強行は憲法違反であるし国会議員としての自殺行為です。

**編集部** 共謀罪では、多くの著名人が反対の声を上げました。

**仁比議員** ジャーナリストをはじめ言論人、日本ペンクラブの浅田次郎さんや赤川次郎さん、国際ペンなどの声明などがあがりました。主権者であり生活者である国民のみなさんの政治を見る角度が変わってきている。安倍政治に代わる勢力を模索している。外に代わるものがあるか。野党共闘を発展させることが非常に大切になっています。

**編集部** 東京都議選の結果が重要ですね。

**仁比議員** 安倍首相は、加計隠し、8月の内閣改造、秋の改憲案の国会提案、来年の国民投票など、勝手なスケジュールを進めています。

**編集部** お忙しい中、ありがとうございます。

**編集部** 最後に、労働組合（運動）に対するメッセージを。

**仁比議員** 最後に、労働組合（運動）に対するメッセージを。



政治「ストップ」の展望はなんでしょう。

**仁比議員** JR博多駅博多口の共謀罪反対宣伝では1時間で2000枚のビラの受け取りがあると聞きました。博多駅は、九州各地の奮闘が反映していると思います。この間の国会でも「安倍政権での憲法改悪は許さない」と野党4党首で確認し、市民連合などの生活・原発・人権・働き方などのテーマの要求にこたえる形で政策・要求を確認してきました。

**編集部** 最後に、労働組合（運動）に対するメッセージを。

**仁比議員** 最後に、労働組合（運動）に対するメッセージを。

**仁比議員** 最後に、労働組合（運動）に対するメッセージを。

## 当局の迅速・誠実な対応を求めて

### 県労連推薦候補不任命への不服審査

6月16日、福岡県労働組合（福岡県労連）は、今年度の最低賃金審査委員会労働者委員任命に関わって、県労連の推薦委員候補の不任命に対して行政不服審査法にもとづく審査請求を福岡労働局長に対して提出しました。この行動は、県労連から内田副議長、小川事務局次長、小原最賃委員長

速やかな対応を

県労連は、2年前の審査請求の際に提出した審査請求の裁決が先日届き、2年も時間がかかったことを問題であると指摘し、速やかな対応と今期任命した労働者委員の名簿の開示を求めました。

県に対し、最賃10000円の意見書提出を要請

また、福岡県知事が最賃審査会に対して昨年「時給800円」の意見書を提出していましたが、6月28日、福岡県労働政策課に対して「10000円以上に引き上げるように意見書を提出してほしい」と要請を行いました。県労連は、全国一律最低賃金制度の実現、大幅引き上げ実現に向け、全力を挙げる決意です。

今後の日程 8月5～6日 原水禁世界大会・広島 8月6日(日)10時・県労連第28回定期大会 8月7～9日 原水禁世界大会・長崎 8月7日(月)いかなよ貧困・福岡街頭宣伝 8月18日(金)ディーセントワーク宣伝、非正規労組連絡会幹事会

この本をおすすめ

## D・カーネギー著 『人を動かす』

戦前に書かれた書物であり、取り上げられている事例が時代が過ぎていますが、本書は人とのコミュニケーションの仕方を説いたもので、内容は普遍的、古臭さは全く感じない。本書の内容は決して目新しくないのであるが、「人を動かす」という観点に絞って様々なテクニックを様々な興味深いエピソードとともに紹介しており、大変参考になります。本書では、

- 自分が間違っているかもしれないと前置きした上で物事を提案すれば、反対されにくい。
- 相手に「イエス」と言わせるように話を運ぶ。
- 自分と誤りがあれば、相手の言うことを先に自分で言う。
- 人と話をする時、意見が一致している問題から始める。
- 相手に「イエス」と言わせるように話を運ぶ。

という興味深いテクニックが紹介されており、是非実践に移してみたいです。

創元社〈文庫版〉 702円 ※Amazon